

# 2021年度有峰蛾類分布調査-1

報告：霜鳥智也  
編集：田島敏美

【実施日時】5月13日18：00～5月14日5：30

【天候】曇り→晴れ 【気温】14℃～6℃

【月齢】大潮（1.3→2.3）

【実施方法】灯火採集法（ライトトラップ）

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000m～1300mの高原盆地です。

有峰で記録された蛾類の種類は24科931種で、確認された最大の科はヤガ科の340種です<sup>1)</sup>。

昨年2020年に引続き5月13日～14日に第1回目の蛾類分布調査を実施したので報告します。

飛来した蛾類の一覧表を表示します。

飛来した蛾類の同定は、日本産蛾類標準図鑑他を参考に実施しました<sup>2)～4)</sup>。

有峰に分布するヤママユガ科は、オオミズアオ、オナガミズアオ、ヤママユガ、ウスタビガ、クロウスタビガ、クスサン及びヒメヤママユの8種が知られています<sup>1)</sup>。今回の調査では春の2大蛾エゾヨツメ（ヤママユガ科）とイボタガ（イボタガ科）のうち、エゾヨツメが飛来しました。エゾヨツメの幼虫の寄主植物（食樹）は、ハンノキ、シラカバ、ダケカンバ（カバノキ科）、ミズナラ、ブナ（ブナ科）、ナナカマド（バラ科）、イタヤカエデ、ハウチワカエデ（ムクロジ科）で、有峰にも分布しています。シャチホコガ科は3種、アカネシャチホコ、ヤスジシャチホコ及びブナアオシャチホコが飛来しました。アカネシャチホコ幼虫の寄主植物は、ミズナラ、ヤスジシャチホコの寄主植物はハリギリ、ブナアオシャク科の寄主植物はブナで、どの食樹も有峰に分布しています。有峰では、既にシャチホコガ科は65種が同定されています<sup>1)</sup>。ヤガ科では、スギタニキリガ、ウスアオキリガ及びミヤマゴマキリガが飛来しました。ヤガ科は既に340種が同定されています<sup>1)</sup>。シャクガ科では、エグリヅマエダシャク他2種（未同定）が飛来しました。スギタニキリガ幼虫の寄主植物は、ミズナラ（ブナ科）、サクラ類（バラ科）、カラマツなどです。ウシアオキリガの寄主植物は、ミズナラ（ブナ科）です。ミヤマゴマキリガ幼虫の寄主植物はカラマツです。シャクガ科は既に225種が確認されています<sup>1)</sup>。今後も有峰に分布する寄主植物（食樹）との関係も含め、蛾類の分布調査を継続していきます。

## 【引用文献】

富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊（昭和56年7月）

岩田泰則著：日本蛾類標準図鑑 I II/学研

岩田泰則他著：日本のヤママユガ/（有）むし社

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤママユガ	エゾヨツメ	♂ 1	21:30
シャチホコガ	ヤスジシャチホコ	♂ 2	21:30～24:00
	ブナアオシャチホコ	♂ 3 ♀ 1	20:00～2:00
	アカネシャチホコ	♂ 2	21:00～22:30
ヤガ	スギタニキリガ	♂ 2	20:00～23:00
	ウスアオキリガ	♂ 1	21:00
	ミヤマゴマキリガ	♂ 1	21:30
シャクガ	エグリヅマエダシャク	♂ 6 ♀ 2	20:00～22:30
	ムラサキエダシャク	♂ 1	21:00
	種未同定 2 種		20:00～2:00



点灯後のライトトラップの様子



飛来したスギタニキリガ♂



飛来したスギタニキリ



飛来したエゾヨツメ♂



飛来したエグリツマエダシャク♂



飛来したシャクガ科の1種



飛来したブナアオシャチホコ



飛来したムラサキシチャチホコ♂